

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	6 月	21 日	記入者	橋詰 輝己
調査者名	石井	中川(崇)	中西	橋詰	
	2021.4.3	桜開花時再訪	石井	橋詰	

文化財名	仏隆寺(ぶつりゅうじ)のサクラの巨樹				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1983年(昭和58)3月15日				
所在地	宇陀市榛原赤植(あかばね)1684番地				
所有者 管理者	仏隆寺				
員数	1株				
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) モチズキザクラ			(樹齢) 推定樹齢950年	
案内板の状況	掲示はされているが、汚れてよく読めない				
公開	見学は自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 (枝が折れないように柱の補強が講じられている。幹の腐食が見られる)				
当面の課題	天然記念物の桜なので現状維持を保つ必要がある。案内板があるが汚れておりよく読めないので取り換える必要がある。桜の枝の支え棒(2本)は令和元年に補助金で行った。				
今後の課題	サクラ巨樹の幹の部分は一部ビニールシートで保護されているが、腐食部はコンクリートで固めるなどして、あらゆる手立てをして巨樹の腐食を防ぐ必要がある。				
その他 (由緒など)	ヤマザクラとエドヒガンの雑種であるモチズキサクラの一種である。ヤマザクラの特徴もあり、学術上、貴重な巨樹である。奈良県下最大・最古ともいわれ、根囲は7.7mである。(教育委員会では年1回調査に入り、樹木の点検を行っている。2年前樹木医の判断で枝の支えを指摘を受け、県の予算でささえ棒を設置)				
コメント	春には桜の花を満開に咲かせ、多くの方々の目を楽しませてくれる。いつまでも守って行きたい桜の巨樹である。昔は秋に仏隆寺に行く階段脇にはヒガン花が一面に咲き素晴らしい景観を保っていたが、数年前からイノシシの獣害に荒らされた。獣害対策として柵を設置して保護を行っている。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	6 月	21 日	記入者	橋詰 輝己	
調査者名	石井	中川(崇)	中西	橋詰		
	2021.4.3	桜開花時再訪	石井	橋詰		

文化財名	仏隆寺(ぶつりゅうじ)のサクラの巨樹
------	--------------------

南側(枝の支え・説明板)	東側より(6月なので青葉で覆われる)
--------------	--------------------



南の側面(腐食部分が広がらないような対策)

西の側面(腐食部分を見つける)



2021年4月再訪・満開時の桜

2013年4月 満開の夜桜

